

希望 全ての人の人へ

震災風化防止へ作品展

来月3日までumie

震災後を生きる全ての人たちに希望を届けたい。神戸市中央区・ハーバーランドの商業施設「umie」で24日、「東北、熊本から神戸へ! つくることは生きること」が始まった。「ARTS for HOPE(アーツフォーホープ)」が主催。会場にはハッピーフラワー、ハッピードールなど2000点を超える作品が展示されている。3月3日まで、無料。

アーツフォーホープ(事務局、東京都千代田区)は、アートプロデューサーの高橋雅子さんが代表を務め、東日本大震災直後から避難所や仮設住宅などへの訪問を続けてきた。昨年は東北、東京の7会場で開催。いま、ここで生きている」を開催。今年には広島、神戸、熊本で展覧会を計画した。

ハッピーフラワー作りは、原発事故の影響で人口が流出した福島県南相馬市に「希望の花」を咲かせるプロジェクトとして始まったもので、これまでに数千点が寄せられている。ハッピードールは、色とりどりの布で作られた人形。会場を訪れた神戸市中央区の小料理子さん(28)は「6歳

の時に阪神大震災を経験した私も、つらい思いをしている人々を多く知っている。素晴らしい展覧会で、多くの人に訪れてほしいと話していた。

25、26日午前10時〜午後2時、親子で楽しめるハッピードール作りが行われる。参加無料。会場は、センターストリートスペース1階中央特別会場。

【元田 禎】



東日本大震災や熊本地震の風化防止、被災者の心の応援を目的に始まった「つくることは生きること」。手前に見えるのはハッピーフラワー—神戸市中央区で